

## ① 制度の概要

東京都が水素社会の早期実現に向けて実施する革新的な支援制度です。35MPaの水素ステーションとカーシェア事業等を併せて開業する事業者に対し、設備設置から運営、車両購入、事業開始に至るまでの費用を総合的に助成します。水素エネルギーの利用拡大と環境配慮型モビリティサービスの普及を同時に促進する画期的な制度です。

水素供給能力に応じて最大5億円まで助成され、中小事業者には特に手厚い支援が用意されています。水素ステーション整備の初期投資負担を大幅に軽減し、東京都における水素インフラの面的拡大を目指しています。カーシェア事業との組み合わせにより、事業採算性の向上も期待できます。

## ② 支援内容

## □ 水素供給設備の設置

水素供給能力に応じて上限額を設定。大規模事業者は4/5、中小事業者は全額助成。

最大5億円

助成率：4/5又は全額

## □ 燃料電池自動車の車両購入費

カーシェア事業用の新車購入費用を定額助成。運営費は最大1,000万円別途助成。

定額300万円/台

## ③ 対象となる取組

## 【水素ステーション設置】

- 充填圧力35MPaの水素供給設備の都内設置
- 水素供給設備機器費、設計費、工事費等
- 人件費、修繕費、水道光熱費等の運営経費

## 【カーシェア事業等の実施】

- 中古車を除く新車の燃料電池自動車の導入
- カーシェア事業等の駐車場整備
- 管理事務所の建築費用

## ④ 対象者

- 民間企業（水素供給設備又は燃料電池自動車を調達するリース事業者を含む）
- 独立行政法人
- 一般社団法人・一般財団法人及び公益社団法人・公益財団法人
- 法律により直接設立された法人
- その他都知事が認める者

※複数事業者で実施する場合、助成対象経費の割合が最大の事業者を代表とする。

## ⑤ 採択率向上のポイント

- 水素供給能力の最適設計：300Nm<sup>3</sup>/h以上の大規模設備なら最大5億円の助成。需要予測に基づく適切な規模選定が重要です。
- カーシェア事業計画の具体性：燃料電池自動車の稼働率向上策、料金設定、営業時間の充実など収益性を示す計画書が必須です。
- 中小事業者の優位性活用：中小事業者は設置費用の全額助成が可能。運営費も上限1,000万円と大規模事業者の2倍です。
- 複数事業者連携の検討：水素供給とカーシェア事業でそれぞれの専門事業者が連携することで、事業の実現性と継続性を高められます。

## ⑥ 戰略的分析

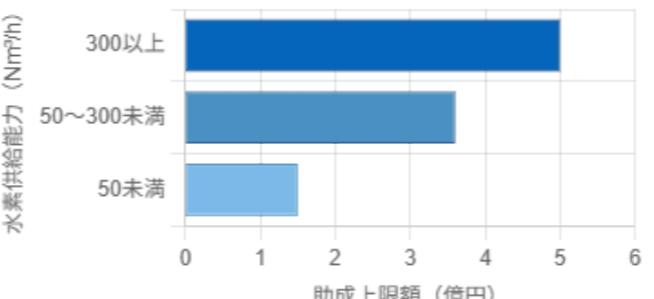
## 【水素ステーション整備の戦略的意義】

- 35MPa規格に特化した支援により、小型FCVの普及を後押し。乗用車やライトバン向け水素インフラの拡充を図ります。
- カーシェア事業とのパッケージ化により安定需要を確保。稼働率向上で事業採算性が大幅に改善します。

## 【段階的な事業展開戦略】

- 第1段階：設置費用助成で初期投資リスクを最小化。令和7年4月から申請開始です。
- 第2段階：運営費助成で初期の収益化までの期間を支援。令和7年10月から申請可能です。

## ⑦ 水素供給能力別の助成上限額



大規模設備 (300Nm<sup>3</sup>/h以上)：最大5億円の助成で本格的な水素ステーション整備が可能

中規模設備 (50~300Nm<sup>3</sup>/h)：3.6億円まで助成。地域密着型ステーションに最適

## ⑧ 専門家活用のススメ

- 技術的適合性の確認：水素供給設備の設計や安全基準への適合について、専門コンサルタントの助言が有効です。
- 事業計画の精緻化：カーシェア事業の収益シミュレーションや需要予測など、経営コンサルタントの支援が採択率を高めます。
- 複雑な申請書類作成：助成対象経費の算定式が複雑なため、補助金申請の実績豊富な行政書士への依頼を推奨します。
- 法令手続きのサポート：官公庁への各種申請手続きについて、法務専門家のサポートがスムーズな事業開始につながります。

## ⑨ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
助成金交付申請書	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 代表事業者の情報を正確に記載</li><li>□ 助成対象経費の詳細な内訳を添付</li></ul>
事業計画書	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 水素ステーションの供給能力と設置場所を明記</li><li>□ カーシェア事業の具体的な運営計画</li><li>□ 収支計画と事業継続性の根拠</li></ul>
設計図書・見積書	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 水素供給設備の詳細設計図</li><li>□ 複数業者からの見積書を取得</li><li>□ 助成対象経費の算定根拠を明確化</li></ul>
車両に関する書類	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 次世代自動車振興センターの補助対象銘柄</li><li>□ 導入予定車両の仕様書</li></ul>
法人関連書類	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 登記簿謄本（発行後3ヶ月以内）</li><li>□ 中小事業者の場合は証明書類</li></ul>

\*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/10/30作成】

## ⑩ 申請スケジュール

## 事前準備期間

水素ステーション設計・カーシェア事業計画策定に3~6ヶ月程度必要。都市エネ促進チームへの事前相談を強く推奨します。

## 申請受付期間（設置・車両購入・事業開始費用）

令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火）

## 申請受付期間（運営費）

令和7年10月27日（月）～令和8年2月27日（金）

## 審査・交付決定

申請後1~2ヶ月程度で審査完了。交付決定後に事業着手・車両の初度登録を行うこと。

## 事業実施・完了報告

交付決定後に事業開始。完了後は速やかに実績報告書を提出し、助成金確定後に請求・支払い。

## ⑪ 問い合わせ

制度詳細 [https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/hydrogen\\_package](https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/hydrogen_package)

お問い合わせ 都市エネ促進チーム  
TEL：03-5990-5175

受付時間：平日9:00～17:00（12:00～13:00除く）  
※申請の際は事前にお問い合わせください。